High Purity Materials
KOJUNDO CHEMICAL LABORATORY CO.,LTD.
株式会社 高純度化学研究所

安全データシート

1．化学品及び会社情報

製品名	FeS (Grain,Powder,Tablet,Target,ｶﾀﾛｸﾞ #:FEI06PB)	
整理番号	FEI06PAG-001	
作成日	2026/07/07	
会社情報	会社	： 株式会社高純度化学研究所
	住所	： 埼玉県坂戸市千代田5-1-28
	担当部門	： 品質保証部
	電話番号	： 049(284)1511
	FAX番号	： 049(284)1351
推奨用途	試験研究用	
使用上の制限	推奨用途以外で使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。	

2．危険有害性の要約

【GHS分類】
物理化学的危険性
分類基準に該当しない。
健康に対する有害性
分類基準に該当しない。
環境に対する有害性
分類基準に該当しない。

【GHSラベル要素】

絵表示	： 該当しない
注意喚起語	： 該当しない
危険有害性情報	： 該当しない
注意書き	
安全対策	： 該当しない
応急措置	： 該当しない
保管	： 該当しない
廃棄	： 該当しない

3．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	： 化学物質
化学名又は一般名	： 硫化第一鉄

成分名	含有率(%)	CAS RN®	化審法
硫化鉄	100.00	1317-37-9	1-362

4．応急措置

吸入した場合	： 被災者を空気の新鮮な所に移し、医療処置を受けさせる。 鼻をかませ、うがいをさせる。
皮膚に付着した場合	： 物質に触れた部分を多量の水を流しながら、石鹸を使ってよく落とす。 外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は、医療処置を受ける手配をする。

眼に入った場合	：流水で眼を最低１５分間洗浄し、眼科医の手当を受ける。 洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球・瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。
飲み込んだ場合	：直ちに医療処置を受ける手配をする。水でよく口の中をうがいさせる。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	：救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	：患者の症状に対応した治療を行うこと。

５．火災時の措置

適切な消火剤	：消火剤の制限はない
使ってはならない消火剤	：「適切な消火剤」と「使ってはならない消火剤」が重複する場合、その消火剤を使用しないでください。
火災時の特有の危険有害性	：火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガス/ヒュームを発生する。 ：粉末の場合、周囲の熱や着火源により粉塵爆発を起こすおそれがある。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	：適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置	：全ての着火源を取り除く。 ：処理作業の際には保護具を着用し、粉末(蒸気)の付着・吸入を防ぐ。 屋内の場合処理が終わるまで充分に換気する。屋外では風上から作業する。
環境に対する注意事項	：環境に放出しないこと。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	：可能であれば漏れを止める。こぼれたものに不必要に触れない。 ：できるだけ掃き集めて密閉できる空容器に回収する。
二次災害の防止策	：河川・下水道等に流出し、環境汚染を起こさないよう注意する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	：情報なし
安全取扱注意事項	：情報なし
接触回避	：適切な身体保護具を選んで着用し、局所排気装置を利用して作業者が物質に触れないように、また物質の蒸気､粉塵を吸引しないようにする。 取り扱いは、換気の良い場所で行う。
衛生対策	：この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件	：容器を密閉し、乾燥した冷暗所に保管する。 ：ターゲット等の成型品は品質保持上、未開封状態で保管してください。
安全な容器包装材料	：情報なし

８．ばく露防止及び保護措置

管理濃度／許容濃度／濃度基準値

成分名	管理濃度	産業衛生学会	ACGIH	OSHA	濃度基準値
硫化鉄	-	-	-	-	-

設備対策　：作業場には適切な全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸用保護具	：粉塵に暴露される可能性のある場合は、防塵マスクを着用する事。

手の保護具	：適切な保護手袋を着用すること。
眼，顔面の保護具	：適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	：適切な保護衣を着用すること。
特別な注意事項	：保護具は保護具点検表により、定期的に点検すること。
	：管理濃度／許容濃度／濃度基準値の注釈は以下の通り。 TLV，PEL：許容濃度、TWA：時間荷重平均値、STEL：短時間暴露限界値、D：粉塵、M：ミスト、F：ヒューム、I：吸引性粉塵、R：吸入性粉塵、IFV;吸引性粒子と蒸気、T：総粉塵、V：蒸気、C：天井値

９．物理的及び化学的性質

物理状態	：固体
色	：黒色
臭い	：情報なし
融点／凝固点	：情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	：情報なし
可燃性	：情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	：情報なし
引火点	：情報なし
自然発火点	：情報なし
分解温度	：1193℃
pH	：情報なし
動粘性率	：情報なし
溶解度	：水に不溶(酸に分解)
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	：情報なし
蒸気圧	：情報なし
密度及び／又は相対密度	：4.7g/cm3
相対ガス密度	：情報なし
粒子特性	：情報なし
その他	：式量：87.9　　酸化性：なし

１０．安定性及び反応性

反応性	：情報なし
化学的安定性	：容器を乾燥雰囲気にして密封し、室温保存で安定である。
危険有害反応可能性	：情報なし
避けるべき条件	：直射日光を避け、冷暗所に保管する。
混触危険物質	：現在のところ知見無し。
危険有害な分解生成物	：情報なし

１１．有害性情報

急性毒性（経口）
　情報なし

急性毒性（経皮）
　情報なし

急性毒性（気体）
　情報なし

急性毒性（蒸気）
情報なし

急性毒性（粉塵ミスト）
情報なし

皮膚腐食性／刺激性
情報なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性
情報なし

呼吸器感作性
情報なし

皮膚感作性
情報なし

生殖細胞変異原性
情報なし

発がん性
情報なし

生殖毒性／授乳への影響
情報なし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）
情報なし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）
情報なし

誤えん有害性
情報なし

１２．環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）
情報なし

水生環境有害性 長期（慢性）
情報なし

オゾン層有害性
情報なし

生態毒性・魚毒性
情報なし

生態毒性・無脊椎動物毒性
情報なし

生態毒性・藻類毒性
情報なし

残留性・分解性
情報なし

生体蓄積性
情報なし

土壌中の移動性
情報なし

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物	：関連法規ならびに地方自治体の基準に従い廃棄すること。 ：都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。 貴金属や希土類の場合、多量にあれば、資源回収に資する。
汚染容器及び包装	：空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後、廃棄物処理法及び関連法規ならびに地方自治体の基準に従い処理する。

１４．輸送上の注意

国連番号	：-
指針番号	：-
品名（国連輸送名）	：-
国連分類	：非該当
容器等級	：情報なし
副次危険性	：-
海洋汚染物質	：非該当
MARPOL 73/78 付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	：非該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	：『７．取扱い及び保管上の注意』の記載に従うこと。
	：容器に漏れの無いことを確かめ、転倒・落下・損傷がないように取り扱い、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制

陸上輸送	：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	：船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	：航空法に定められている運送方法に従う

１５．適用法令

消防法	：非危険物
化学物質把握管理促進法	：非該当
毒物及び劇物取締法	：非該当

労働安全衛生法

第56条 製造許可物質	：非該当
第57条 名称表示物質	：非該当
第57条の2 通知対象物質	：非該当
第577条の2 がん原性物質	：非該当
第594条の2 皮膚等障害化学物質	：非該当
危険物	：非該当
特定化学物質障害予防規則	：非該当
鉛中毒予防規則	：非該当
四アルキル鉛中毒予防規則	：非該当
有機溶剤中毒予防規則	：非該当

１６．その他の情報

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の含有量が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

この安全データシート(SDS)は製品の危険，有害性等に関する情報を提供するものです。製品の品質や性能，安全性(物性値、危険有害性情報等)についてはいかなる保証をなすものではありません。

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報の漏れや、新しい知見の発見や従来の説の訂正により内容に変更が生じることがあります。

ここに記載された内容は当社所有の情報によるものであるが､情報の完全さを保証するものではありません。

又､法令の改正及び新しい知見に基づき改訂されることがあります。

重要な決定事項にご利用される場合は、出典等を良く検討されるか、試験によって確かめられることをお薦めします。

記載内容のうち､成分及び含有量､物理化学的性質などの値は､品質保証値ではありません。

ご使用の際は、使用される国, 地域などの法規制情報等をご使用者において調査され、最優先していただくとともに、安全に注意してご使用ください。

注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策をお願いいたします。

特別な注記事項（該当する場合のみ表示されます）

参考文献

: 1) JISZ7252（2019）；GHS に基づく化学品の分類方法
: 2) JISZ7253（2019）；GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
: 3) 事業者向けGHS 分類ガイダンス(令和元年度改訂版(ver.2.1) 経済産業省)
: 4) 化学物質総合情報提供システム(CHRIP；(独)製品評価技術基盤機構(NITE))
: 5) 日本化学会編，化学便覧　基礎編　改訂 6版　；丸善
: 6) 17120の化学商品；化学日報工業社
: 7) David R. Lide, CRC Handbook of Chemistry and Physics 76th Ed.,CRC Press
: 8) STN Registry file
: 9) ICSC(国際化学物質安全性カード); 国立医薬品食品衛生研究所,WHO/IPCS
: 10) GESTIS-database on hazardous substances；(IFA) IFA：ドイツ労働災害保険協会労働安全衛生研究所
: 製品によっては、5)-10)の参考文献に掲載がない場合があります。